

7 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・チームの課題を考え、工夫して課題解決に取り組んでいる。(思考・判断)
- ・練習した技能やチーム内の約束を試合形式練習で実践することができる。(技能)

(2) 本時の展開

	学習活動	生徒の活動	評価の内容
導入 10分	・ランニング ・体操、補強運動 ・挨拶、出欠確認 ・ランニングパス	補強運動：馬跳び10回（2人1組） ランニングパス：チームで20回連続を目標に行う。全員で声をかけることを意識する。	
課題 チームで練習を考え、“攻撃につなげるバレー”を目指そう。			
展開 28分	・ワークシートを元に、課題を明らかにし、練習内容を話し合う。(5) (チームの課題を理解し、練習を選択する) ※6チーム（1チーム6～7人） ・チームでの課題練習①(5) ・チームでの課題練習②(5) ・試合形式練習(13)	＜練習を選択＞ 練習①2人でカット練習：2人での連携の仕方を確認する。 練習②扇状パス：手投げでセッターへのパスとカバーを意識する。 ※セッターはビブスを着用する。 練習③2ボール円陣パス：声を出すことを意識し、パスをつなぐことを意識する。 ※上手くない場合はボール1個でもよい。 ※体育館を6分割し、チーム内で練習をする。 ※ネットを挟んで練習しない。 ※プログラムタイマーを6分でセットし、ブザーが鳴ったら、次の練習を行う。 試合形式練習（ネット2m30cm） ①A-B、D-E 4分間 ②B-C、E-F 4分間 ③A-C、D-F 4分間 ・サーブは、手で投げ入れ。 ・ローテーションをする。 ・点数をカウントする。審判はバレー部と教師 ・チーム内の役割・約束事を意識する。 ・パスが乱れた時は確実に相手に返す。	思・判 チームの課題を考え、アイデアを出している。 技 練習した技能やチーム内の約束を実践することができる。
まとめ 7分	・試合形式練習での反省 ・反省の交流と課題への振り返り	チームで良かった点、改善する点を確認する。 チーム内で話し合ったことを発表する。 “攻撃につなげるバレー”ができたかを振り返る。	
まとめ 攻撃につなげるためには、ボールが空中にある時のチームの準備（声かけを含む）が重要である。			
		＜生徒の予想される発表＞ ・レシーブがやっぱり大切。 ・声かけの工夫を積極的に行うことが大切。 ・ボールが来るまでの準備が大切。 ・カバーを頑張ることが大切。	
整理 5分	・次時の内容説明 (三段攻撃からスパイク、ブロックを意識する) ・挨拶、片付け	全員で協力して、すみかやかに片付ける。	